



地域学校協働活動だより

令和5年1月 日発行 福島県教育庁県北教育事務所

教科書や資料集からは学べない体験がここにある！

～本宮市立糠沢小学校の取組～

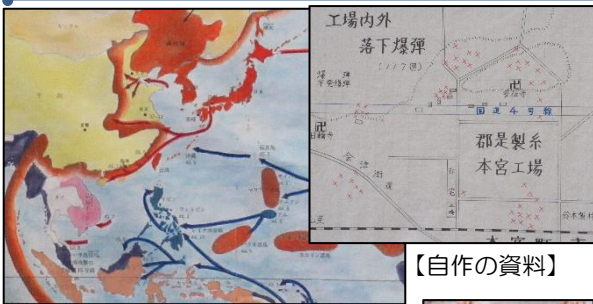
訪問日：令和4年12月15日（木）10：15～11：30
場所：本宮市立糠沢小学校
内容：第6学年社会科 「戦争体験講話学習」
講師：大塚 道子 氏（本宮市在住）



大塚さんは自身が体験した戦争中の生活や本宮市の空襲について、当時使用していた生活用品や戦争に関する資料を豊富に用意して、子ども達に分かりやすく伝えていました。子ども達は、大塚さんが目の当たりにした空襲の様子や当時の小学生の生活についての話を聞くことで、戦争の恐ろしさを知るとともに、改めて平和の大切さを考えることができました。



地域ボランティアの方だからこそできる体験学習



【自作の資料】



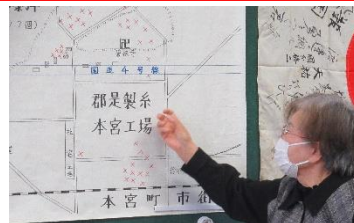
【水筒】



【ヘルメット】



【千人針】



【空襲の様子を図で説明】



【当時の道具を身につけて】



【児童】

大塚さんのお話から、本宮市にも空襲があったことを初めて知りました。当時の道具から生活の様子を知ることができました。

講話を聴くことで、戦争をより身近に感じることができました。地域の方を招くことで、授業の質を高め、有意義な時間とすることができました。



【教諭】

学習ボランティア活用術！

打合せを行うことで授業がさらに充実！（本宮市立糠沢小学校の場合）

【地域連携担当教職員・担任】

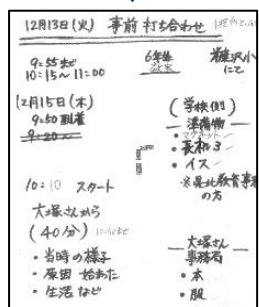


- ① 学習ボランティアを依頼
- ② ボランティアリストから学習ボランティアを選定・依頼
- ③ 授業へ向けて打合せを実施
- ④ 授業へ参加



【行政担当者】

【地域コーディネーター】



【事前打合せ】



【ボランティア】

本宮市の地域学校協働本部は、学校から学習支援ボランティアの要請が入ると、地域コーディネーターや行政担当者が学習に最適なボランティアを派遣してくれます。

授業を行う際には、事前に行政担当者や地域コーディネーターが中心となって打合せを実施します。これにより、授業の内容がさらに充実します。